

第1回 嘉麻市行政経営推進審議会 会議録

1. 審議会等の名称 令和7年度 第1回嘉麻市行政経営推進審議会
2. 開催日時 令和7年7月14日（月）13：30～15：19
3. 開催場所 嘉麻市役所本庁舎4階 防災対策室
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）

6. 出席者

（1）委員

美谷薫委員、林田史朗委員、大野繁治委員、三船國弘委員、頼金豊子委員、大森成順委員、
長野美津子委員、永富靖人委員、野見山桂子委員、大里理子委員、松田クニ子委員

＊欠席委員 藤井正博委員

（2）執行機関

市長 赤間幸弘、財政課長 赤坂晋、財政課長補佐 田中ひふみ、
行政改革推進係長 渡辺亮、行政改革推進係 鹿毛一樹

7. 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 0人

8. 議題及び審議の内容

（1）市長あいさつ

（2）諮問

【議題】

（3）今後のスケジュールについて

（4）昨年度行政経営推進審議会指摘事項対応状況について

（5）第4次嘉麻市行政改革実施計画の令和6年度実施状況について

（6）その他

【審議の内容】

（3）今後のスケジュールについて

審議会スケジュールについて、今後の審議の流れとともに資料により説明を行った。

（事務局）

（4）昨年度審議会指摘事項に対する対応状況について

昨年度の審議会において指摘のあった事項への市の対応状況について、資料に沿って説明を行った。（事務局）

説明を受け、次のような意見が出た。（委員）

【委員】「対応予定」の項目については、今後確実に対応がなされるよう要望する。

【委員】「昆虫産業都市構想推進事業」の項目に関して、令和7年度になり3か月経過しているため、現段階での進捗状況を教えてほしい。

【事務局】現在、九州大学に1名の職員を派遣中であるが、具体的な進捗状況については未

確認のため、次回の審議会にて報告する。

【委員】「工業団地整備事業」の項目に関して、山野地区については民間投資を促し、市の財政出動を減らすとなっているが、具体的な実現性はどの程度なのか。

【事務局】担当課としては実現させる手応えはあり、そのために活動している。

【委員】「市バス運行管理事業」の項目に関して、市バスの乗客者数が少ないように感じるが、財政負担を減らす意味でも、デマンドやライドシェアを導入して経費削減ができないか。

【事務局】運行管理委託料の算出方法が運転手の拘束時間となっており、デマンドにしても定期便にしても拘束時間としては、変化がないため経費削減の効果は少ない。契約方法の変更までは現状対応できていない。

(5) 第4次嘉麻市行政改革実施計画の令和6年度実施状況について

第4次嘉麻市行政改革実施計画の令和6年度実施状況について、資料に沿って説明を行った。(事務局)

説明を受け、審議を行い、次のような質問及び意見が出た。(委員)

【委員】項目1「計画的な財政運営」については、回答が昨年度と同様であり年度単位で見ると問題ない結果だと思うが、義務教育学校の建設で起債が増えている中で減債基金に積立が行えていないという状況は、将来的には起債の償還に迫られ、他の事業が行えなくなるといった課題があるのではないか。中長期的なスパンで見た場合の、市としての受け止め方はどう考えているのか。

【事務局】中長期的な財政見通しとしては、本市は非常に厳しい状況にある。義務教育学校等の起債の償還は始まっており、今後も起債の償還額は増えていくことが見込まれている。今後も引き続き行政改革を実施していかなければならない。来年度からの第5次行政改革実施計画についても、非常に厳しい踏み込んだ内容で策定する必要がある。

【委員】項目5「水道事業会計の安定的な経営」について、目標を下回った理由は、実施しているが、新たな漏水箇所が発生しているためではなく、想定以上の漏水が発生していることが理由であるため、記載方法を検討してほしい。

【委員】項目6「市税等の徴収率の向上」について、昨年度同様、成果が達成できていない状況であった。状況が悪化しているにもかかわらず、人員減となった理由はなぜか。

【事務局】人員減の理由としては、税務課の別の部署において病休者が発生したため、課内での異動を行ったことによるものである。

【委員】物価高騰の影響により、生活困窮世帯が増えている現状とそれにより市税や住宅使用料の滞納が増えるということは理解できるが、市としてそのような生活困窮者に対して、どのように対応していくのかといった方針はあるのか。市としての対応が不十分であるから、生活への困窮が起きている等の見解は持っているのか。

【事務局】現段階で、そこまでの精査ができていないため、後日改めて回答する。

【委員】項目8「ふるさと納税の推進」について、他市の事例ではあるが、外部の業者と協

力して研究開発を行い成功している。嘉麻市の状況はどうなっているのか。

【事務局】担当課では、モノコト会（返礼品事業者・市役所・中間事業者の3者で今後の展開について協議を行う会）の開催や、中間事業者と事業者訪問を行うなど、返礼事業者との連携を図り、ルール順守の徹底や新規返礼品の開発などについて呼び掛けていく。

【委員】ふるさと納税については、制度改正に影響を受けたとあるが、どこの自治体もこれぐらい厳しくなっているのか。

【事務局】九州地方の自治体は郵送料が経費として加算される。納税者は関東地方の住民が多く、どうしても関東近郊の自治体と比較すると経費がかかる。このため、そういった自治体と比較すると広告費にかけられる経費が少なくなるため、より不利な状況となっている。寄附額は1億5千万円程度の減少だが、収支になると4千万円程度の減少である。

【委員】九州全体が不利であれば、県の市長会等からの意見などを出したりしているのか。

【事務局】現時点では確認できていないため、後日改めて回答する。

【委員】体験型や現地で使える商品券などを返礼品としてラインアップしている自治体もあると聞いているが、そういった検討は行えているのか。

【事務局】ヒュッグ体験やシャワークライミング体験チケットなどの体験型の返礼品はあり、今後も拡大していくことは検討している。

【委員】当日利用できる商品券などの返礼制度は導入しているのか

【事務局】当日利用の返礼品についても、導入に向けて検討中であると確認している。

【委員】項目9「公金の効率的運用」、項目10「基金の効率的運用」について、昨年度の審議会では証券会社などの外部のアドバイスを受けたほうが良いのではないかという意見があったが、その後どうなっているのか。

【事務局】基金運用については、以前から証券会社のアドバイスをいただいている。財源不足に備えて、債券の購入を差し控えているため、低金利の債券が残っており、運用益が出ていない状況である。

【委員】中途解約や売却を行うと、低金利で購入しているため、損失が発生する可能性はある。しかしながら、金利は上昇傾向なので、数年間で売却損失と金利での運用益の差し引きがどうなるのかといった観点からも検討することが望まれる。

【委員】項目12「職員数の適正化」について、項目6でもあったが病気休職者は多い状況なのか。

【事務局】延べ人数で職員数の一割程度が、病気休職（メンタル以外も含む。）となっている。

【委員】メンタル不調の方などへの対応策というものはあるのか。

【事務局】ストレスチェックを行い、心理的負担において要警戒となった職員については、産業医などによる面談を早期に対応している。しかしながら、職場環境や人間関係など様々な要因で発症することや個人差もあることなので、抜本的な改革というのが難しい状況である。

【委員】産業医面談を受けることを希望する職員が少ないことも問題としてある。また、メ

ンタルの不調が生じたときに、適切な配置転換等、丁寧な対応を行っていくということも必要である。

【委員】項目１６「学校用務員業務の民間委託等」、項目２２「学校図書司書業務の民間委託等」について、昨年度との同様の記載がなされているが進捗はあるのか。

【事務局】「学校用務員業務の民間委託等」及び「学校図書司書業務の民間委託等」については、業務の整理が行えていない状況である。教職員と連携した業務内容も多く、この状況で委託することは難しい状況である。義務教育学校になったこともあり、正規職員の人員配置等の整理を行っていくこととしている。

（全体要望）

・嘉麻市のPRに注力してほしい。知ってもらうことで行きたいと思ってもらえる事業を増やしてもらえたらと考える。

・様式において、目標を下回った理由について記載する欄はあるが、上回った理由を記載する欄がない。成果を表現するということも重要である。

（６）その他

特になし

９．配布資料

- ・令和７年度第１回嘉麻市行政経営推進審議会次第
- ・令和７年度行政経営推進審議会スケジュール（資料１）
- ・令和６年度行政経営推進審議会意見対応等状況調査表（外部評価分）（資料２－１）
- ・令和６年度行政経営推進審議会意見対応等状況調査表（行革分）（資料２－２）
- ・令和６年度行政経営推進審議会答申（資料２－３）
- ・第４次嘉麻市行政改革実施計画実施状況（令和６年度）（資料３）